

Since 1976

横浜市立元石川小学校

令和4年6月30日



# 学校だより

## 7月号

横浜市青葉区美しが丘4-31-1

TEL 045(902)1821

HP <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/motoishikawa/>

## 心と心の通い合い

校長 鈴木 彰

6月21日から、あいさつ運動が始まりました。7月7日までの第1回あいさつ運動です。朝学習の時間に、運営委員会の児童が全校放送で呼びかけました。

今年のスローガンは「みんな 仲良く 力を合わせる けやきっ子」です。当初は、あいさつ運動はやる気がある人の有志で、という考えもありましたが、各クラスの「全員でやると仲が深まる」「団結力ができる」「やる気のない人がいても、やる気のある人がフォローする」「スローガンに合っている」などの意見から、たて割りグループごとに全員で取り組むことになりました。

集会や朝会などで「あいさつの話をしてください」と頼まれると、私は、いつも「あいさつは『する』ものではありません。」と言います。子どもたちは、必ず、みんな「えっ？」という顔をします。そこで私は、「あいさつは、『する』ものではなく『交わす』ものです。」と続けます。すると、「ああ、なるほど。」と、どの子もそれぞれ納得した表情で応えます。

あいさつは、どちらか片方がするものではありませんね。ただの形式的なものということでもありません。あいさつは、心と心の通い合いです。



「**こんにちは**」は、「今日は」です。

「今日は、ご機嫌いかがですか。」と、相手の体調を尋ねる会話が、いつも そしていつまでも続くうちに「こんにちは」の部分だけ定着しました。

「**おはよう**」は、「お早うございます（お早いですね）」です。

自分より早く来ている人に、「お早いですね。お元気で何よりです」と声をかける会話が、いつも そしていつまでも続くうちに「おはようございます」と定着しました。

「**ごちそうさま**」は、「ご馳走さま」です。

お客様がみえるときに、おいしいものを食べていただくとうと、いろいろな材料を集めに走り回ったことがその始まりで、「大変でしたね。お疲れになったでしょう。ありがとうございました。」という気持ちをこめたあいさつが、いつも いつまでも続くうちに「ごちそうさまでした」と定着しました。



高学年の一部の子どもたちは、私と廊下ですれ違うときに会釈をします。言葉を必要としないあいさつも気持ちのよいものです。

どれも、これまでの日本人が、相手の心を思いやって交わすようになったあいさつです。やはり、あいさつは、心と心の通い合いです。そういえば、「会釈」には、「相手に心遣いをする。思いやり」という意味があるそうです。あいさつ運動をきっかけに、子どもも、大人も、心の通い合う元石川小になってほしいと願っています。